

## | ブレーキシステム／ペダル／制動力倍力装置 ブレーキフルード 取替

## 警告/注意/参照

## 参考：

ブレーキフルードの取替作業は、SST(TaSCAN)使用またはSST(TaSCAN)不使用での作業が可能である。

## 手順

## ■ 1. 取り扱い・作業上の注意

## 注意：

- フルード取替はシフトポジションPおよびパーキングブレーキを効かせた状態で行う。
- リザーバのブレーキアクチュエータチューブNo.1(ブレーキブースタポンプASSY-リザーバ間チューブ)取り付けポートよりフルード液面を低下させ、チューブ内にエアが混入すると、フルード取替作業中のポンプモータ駆動によりブレーキブースタポンプASSY内にエアが噛み込み、エア抜き困難となる。
- フルード取替実施中にアキュムレータ圧低下によりブザーが作動する場合があるが、異常ではないので作業はそのまま続ける。
- フルード取替の際、ポンプモータ保護の為連続駆動は100秒以内で行い、ペダルを解放してポンプモータ駆動を一旦停止させる。
- フルード取替作業により、圧力センサ異常などのダイアグノーシスコードが記憶されることがある。フルード取替完了後および手順中に指示がある場合は、ダイアグノーシスコードを消去する。
- 塗装面にブレーキフルードを付着させない。付着した場合はただちに洗い落とす。
- バキューラなどによる負圧でのブレーキフルード取替作業は行わない。\*

## 参考：

\* ECBのアクチュエータは油路が複雑なため、ブレーキフルードに溶け込んでいた気体が、圧力の低下により気化して気泡が発生する可能性がある。

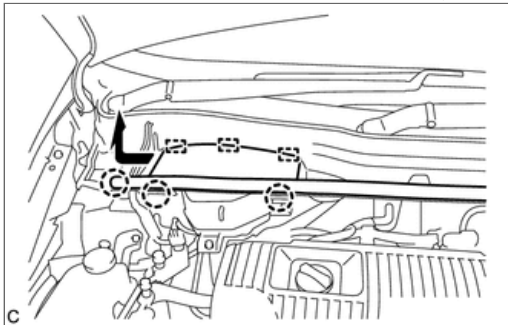
## ■ 2. ブレーキフルード取替 (SST使用時)

## 注意：

- アキュムレータからのフルードリリースによりブレーキフルードがあふれることがあるため、フルード缶はリザーバ注入口に立てない。
- フルード取替作業中はブレーキフルードをリザーバのMIN-MAXレベルの間を保つよう補充しながら行う。

## a. カウルトップベンチレータールーバーCTR取りはずし

i.



ツメのかん合をずらし、フードとカウルトップシールをずらす。

ii. ツメ2箇所およびガイド3箇所のかん合をはずし、カウルトップベンチレータールーバーCTRを取りはずす。

## b. ブレーキフルード取替